

石岡 芳生 議員

都市ビジョン、まちづくりの基本理念を
実現できるような具体策を打ち出すべき

本市のまちづくりの基本理念
「つながりから創る心豊かな
まちづくり」の実現について

石田 実施計画の中で、地域での
市民のつながりに結びつくような
事業は想定しているのか。

市長 協働のまちづくりが全ての
施策の前提であるが、ともすれば
コミュニティでのつながりが弱
くなっている面があるのでは
ないか。これまではできていた草
刈りや支障木の除去等が次第に地
域では対応できなくなってきた
という課題もある。しっかりと
したつながりができるコミュニ
ティーを形成して地域での活動を
支えていただくために、新しい取
り組みにも着手していきたい。

本市の都市像「健康都市
たかはし」の実現について

石田 総合計画を具体化した実施
計画が公表されたが、「健康」の
一つの核となる心身の健康につ
いてどのように取り組むのか。

市長 本市は、国保データシステ
ムの分析結果によると、慢性の腎
臓病や糖尿病の患者が多いことが
特徴である。ほかの疾病もそうで
あるが、市民が健全な体を保つて
いくという気持ちを持っていただ
くためにはどうしたらよいのかと
いうことにしっかりと取り組むと
ともに、毎年のローリング（計画
の見直し）にも取組んでいきたい。

伊藤 泰樹 議員

若者の興味・関心を実現し
若い世代の転出超過に歯止めを

音楽で文化度向上について

伊藤 伊藤記念ホールを活用し、
密にならない生涯学習の発表の場
として提供できないのか。

教育次長 関係団体等の意見を聴
きながら検討する。

伊藤 地域活性化としてピアノリ
レーコンサートはできないのか。

教育次長 眠っているピアノも含
めて、皆様に使っていただくこと
を前向きに検討する。

伊藤 音楽を通じてもつと文化度
の向上が図れないのか。

市長 市民が音楽に親しむ機会を
確保できるよう努めていく。

若者に魅力あるまちについて

伊藤 スケートパークのような施
設を誘致できないのか。

市長 企業版ふるさと納税を活用
して、来年度以降で資金の充当も

旧吹屋小学校について

伊藤 旧吹屋小学校の一般公開は
いつ頃になるのか。

産業経済部長 令和4年4月21日
を予定している。

教科の指導と教師の
関わり方について

伊藤 特に小学校において、教科
数の増、内容の高度化、また働き
方改革を考慮し、今一層の人員の
拡充が図られるべきでは。

教育長 専科指導のメリットは大
きい。教職員の増強、効率化等を
考えている。

伊藤 小・中学校を超えた指導は。
教育長 相互交換は効果的であ
り、小・中連携は今後も増やして
いきたい。

倉野 嗣雄 議員

有漢インターチェンジを活用した
まちづくりを望む

有漢工業団地について

倉野 有漢工業団地は、計画から
6年が過ぎ、優良な企業に進出し
ていたが、今後の有漢地域の
開発についてどのように考えるの
か。

市長 有漢インターチェンジを活
用したまちづくりをしたい。

倉野 今後、有漢工業団地の第2・
第3団地の計画はあるのか。

市長 興和グループとして、次の
新しい事業展開も考えているとの
ことなので、今後、1期目の工業
団地周辺で農振解除ができやすい
適地を選定し進めていきたい。

倉野 12月で土地を選定し、土地
を購入する勢いが必要ではないの
か。

市長 素早く適地を選定、予算的

なものが算出できれば、地権者の
方へ説明等進めていきたい。

市営住宅の有効利用について

倉野 市営住宅の横見（旧緑が丘）
住宅と市場住宅で空き家が増えて
いる。有効利用できないのか。

土木部長 平成29年10月に5団地
26戸の市営住宅を、公営住宅法に
縛られない地域住宅等に変更し
た。空室の活用については、まち
づくり協議

会等で地元
の意見をま
とめていた
だき、国土
交通省と協
議していき
たい。



横見住宅

金尾 恭士 議員

オンライン学習のための
調査・整備について

金尾 オンライン学習を行うため
の各家庭の通信環境の調査、また
整備の状況はどのようになっ
ていくのか。

教育長 この1年で家庭の通信環
境は随分進んだ。家庭へ端末を持
ち帰るための貸出要綱の整備や、
貸出用モバイルルーターの整備、
特別支援教育就学奨励費、あるい
は要保護・準要保護の対象となる
方への補助、また家庭環境で機能
するフィルタリングの構築等の整
備はほぼできた。準備の整った学
校から順に家庭へ持ち帰って試行
する。

医療的ケア児への
対応について

金尾 今年6月「医療的ケア児及

オンライン学習を行うため
各家庭の通信環境の調査・整備を
どのように進めているのか

びその家族に対する支援に関する
法律」が成立した。今後、教育委
員会の体制づくりは。

教育長 医療的ケア児への対応
は、「努力義務」から「責務」になっ
た。家族の負担軽減と本人の健や
かな成長を図ることが目的で、校
内体制等を定めたガイドラインを
作っていききたい。

成年後見制度について

金尾 今年4月に「高梁市権利擁
護センター」が開設されたが、目
的・利用状況・課題は何か。

副市長 「判断能力の十分でない
方の財産や権利を守る」ことが
目的である。4月～8月末の5ヵ
月間で94件の相談実績があった
が、市民の方が後見人になるケー
スが少ないことが課題である。